

令和3年度 第2回帯広市社会教育委員会議 議事要旨

- 1 日 時 令和3年12月1日(水) 18:30~20:30
- 2 会 場 帯広市役所 10階 第6会議室
- 3 出席委員 朝倉 洋一、中山 江里子、福田 茂、阿部 好恵、平田 昌弘、矢野 充、
鳴海 亮、出村 行敬、岸田 智子、川岸 仁、野原 一行、久保田 博己、
佐々木 拓也、金谷 洋子、村上 博子
(以上15名、敬称略)
- 4 事務局 生涯学習部長 井上 猛、生涯学習部参事 葛西 克也、生涯学習文化課長
藤原 理恵子、児童会館館長 渡邊 誠克、図書館館長 石津 邦久、
生涯学習文化課生涯学習係長 大橋 由幾、生涯学習文化課生涯学習係主任
米林 史哲、生涯学習文化課生涯学習係係員 土田 百花
(以上8名)
- 5 会議次第
 - (1) 開会
 - (2) 挨拶 帯広市教育委員会 生涯学習部長 井上 猛
 - (3) 議事
 - ・調査・研究について
 - ・その他
 - (4) 閉会
- 6 議事要旨
 - (1) 調査・研究について

○事務局

今期調査・研究のテーマ(案)「地域住民の学習意欲向上について考える」について事務局より説明する。

本テーマ案の概要

- ・「子ども」「働き世代」「高齢者」それぞれの世代をターゲットにした場合の学習意欲向上について考えるというものである。
- ・各委員やその団体が行っているボランティア・講演会・学習支援活動等がより活発化する方法を探すことで、今ある活動の場をより良くすることを目的とする。
- ・最後に活動を通して気づいたターゲットごとの生涯学習活動を活発化する方法を

まとめ、教育委員会内で供覧、市 HP で公開する。

活動内容

- ・「子ども」「働き世代」「高齢者」の中から力を入れたいターゲットごとグループにわかれ、課題を整理し、見学先等を決める。
- ・各委員やその所属団体が行っている生涯学習活動を見学する。
- ・各委員や、十勝で活発に生涯学習活動を行っている人の講話を聞く。
- ・自分や団体の活動で困っていることを整理し、見学・講話を通して気づいたことをまとめる。

○委員

何を行うのかの確認をしたい。

テーマについて社会教育委員がアイデアを出し合い、結果的にどのようにしたら学習活動が活発化するのか、その方法を出せばいいのか。

○事務局

活動を通してそれぞれの団体等で行っている学習活動が、より活発化する方法を見つけていただきたい。

○委員

学習意欲向上について考えるのか、それとも学習することができる場所を我々が見つけるといふことか。

○委員

そうではなく、学習意欲を活性化させる方法を考えるために、(課題などの整理を通し)何を学びたいのか考え、そのために学ぶ場所を決めるといふことだと思ふ。

○委員

資料1(テーマ案の説明に用いた資料)にある進め方をそれぞれがどのように把握しているかで疑問が出てきているのでは。まずは実際に活動を進めてみてはどうか。

○委員長

いろいろな視点を持っている人が集まった社会教育委員会議で課題や進め方を一つに絞るのは難しいが、まずは自分たちの職業・団体で見えているものを一度シェアしていきたいと考えている。

進め方や課題等で他に気になる点はあるか。

○委員

グループワーク等今後の活動の中で、指示を出す進行役はいるのか。

○委員長

グループワークにはファシリテーターが入る。

その他になければ、今期の調査・研究テーマは「地域住民の学習意欲向上について考える」ということで決定してもよろしいか。

〈了承〉

○委員長

では、引き続き、事務局より今回のグループワークの説明をしてもらおう。

○事務局

グループワークについて事務局より説明。

- ・ふせんに学習活動を行う上での『課題』や『知りたいこと・やりたいこと』を「子ども」「働き世代」「高齢者」の3世代にわけて書き出す。
- ・書いたふせんを項目の札がついた机にはり、他の人の意見と見比べた後、希望するグループに移動する。
- ・自分が話したい項目のグループに入り、出てきた課題をまとめる。
- ・グループごとにまとめの発表。

○委員

全世代に共通するような課題は3世代すべてに書いてもいいのか。

○事務局

その通りである。

〈グループワーク、その後各グループでまとめの発表を行い終了〉

(2) その他

○委員

前回の会議で、市民と行政が双方向に情報を伝えあうことができるようなシステム作りについて提案したが、検討したのか。

○事務局

今回の調査研究のテーマとして検討した。委員から頂いた課題について実際にシス

テム化する場合、教育委員会だけではなく、システム関係の課が主体となることから、本市のシステムを取り扱っている所管課に、社会教育委員会議から出た案として情報提供した。実際、本日の話し合いでも SNS や情報発信が課題として挙がってきていた。社会教育委員は様々な団体から集まってきていることと、各団体の活動が活発になることを調査・研究の成果としたとき、より幅広いテーマが適していると考え今回のテーマについて提案したものである。

以上